

UDS JOURNAL

VOL.5



www.uds-net.co.jp

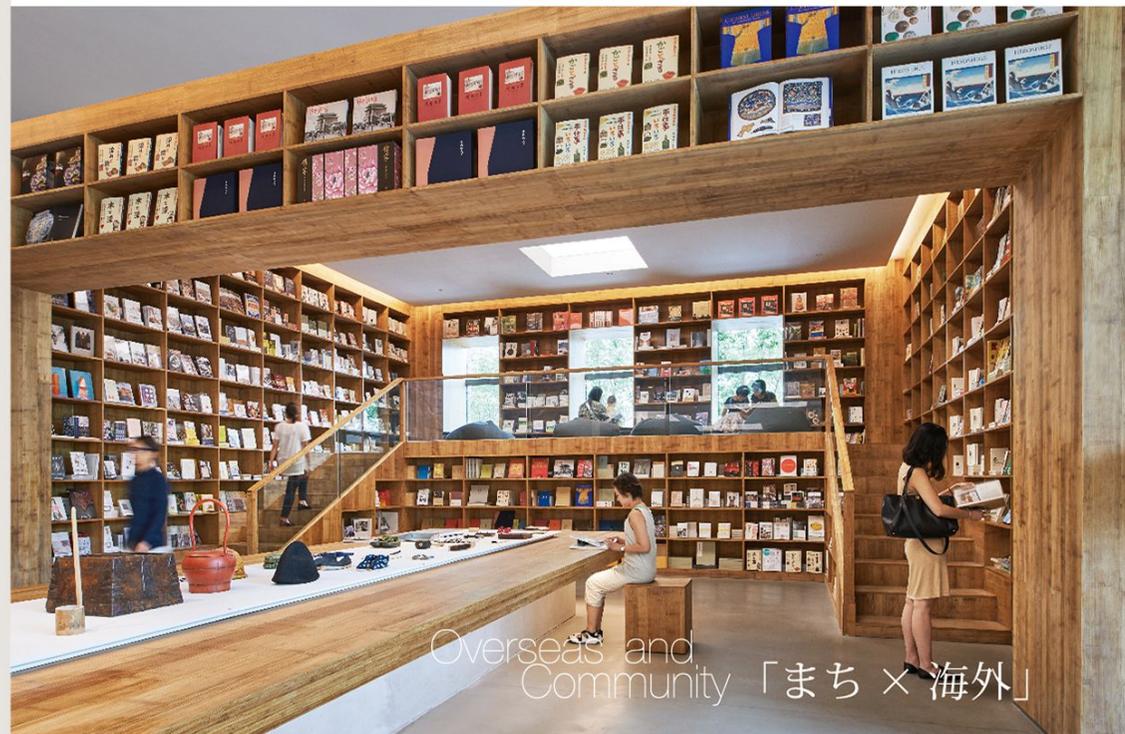


Overseas and
Community
特集「まち×海外」

UDS JOURNAL VOL.5

Contents

01-14	Overseas and Community	特集「まち×海外」
15	From China	大家好! 菅都思
16-17	Hotel Projects	渋谷ストリームエクセルホテル東急 / フェリスヴィラスイート 伊良部島・佐和田 ~離れ~
18	From Okinawa	はいさい沖縄UDS
19	UDS News	Inside UDS
20-21	Staff Voice	Message from UDS Actors



フートン
中国・北京、天安門広場を望み「胡同」と呼ばれる昔ながらの細い路地が残る、
北京らしい風情を感じられるエリア。
この一角に2018年6月、MUJI HOTEL BEIJINGが開業しました。

「古い胡同のまちと文化を大事にしていきたい」という想いのもと、北京のまちの文化に触れられると同時に
ライフスタイルの豊かな方向へのヒントがある場所を目指してオープンした
このMUJI HOTEL BEIJINGの企画、設計、運営を手がけるのが
UDSの中国現地法人、菅都思(ユードゥーサー)です。

UDSでは2003年から中国でプロジェクトを手がけていましたが、
2011年には中国での事業を本格化させるべく、
UDSの創設者で現会長の梶原が家族で中国に移住し菅都思を立ち上げ取り組んできました。
驚くべきスピードで変化していく中国で奮闘してきた菅都思の軌跡や想いをご紹介します。
UDSのまちづくり×海外のこれまでとこれからをお伝えします。



UDS株式会社代表取締役会長
梶原 文生

1965年生まれ。東京都出身。東北大学工学部建築学科卒業。株式会社リクルートコスモス（現株式会社コスモスイニシア）を経て、1992年、建築コンサルティングを目的とした株式会社都市デザインシステム（現UDS）を設立。2011年には家族で中国へ移住し、2013年にUDS株式会社の中国子会社首都思建築咨询（北京）有限公司を設立。7年間の中国駐在のち日本に戻り、現在はスタッフ育成、各国での新規事業拡大に力を入れている。UDS株式会社代表取締役会長、首都思建築咨询有限公司 董事長兼総経理、立命館大学大学院 客員教授（2014年～2017年）、東北大学大学院 非常勤。

UDS 海外事業のはじまり

奈良や京都の素晴らしい建築のルーツは中国建築にあります。そういう面もあって中国には興味を持っていて、25年くらい前から仕事とプライベートをかねて通っていました。当時は日本と比べて経済的な物価の差やビジネス環境の違いがまだ大きい時代でしたが、中国は古代から文明が発達し、それが今日まで連続と続く超大国ですから大きなビジネスチャンスがあると感じていました。また、統計を分析して戦略を練る事を常にやっているのですが、日本の人口減少についてはかなり前から意識していました。日本では人口が減っていき、建築の需要が減っていくのに建築学科の学生数は増えている。では需要は増えていくのに建築家の数が少ないところはどこかとみてみたら、当時のベトナムや中国などがそうだったのです。それでそれぞれの国の様子を注目していました。

知人の紹介で2003年頃から中国で設計業務の仕事を受け始め、2006年には上海で築70年の洋館をリノベーションした複合商業施設「diage」を開業しました。

2008年のある日、東京・恵比寿のオフィスに突然中国の方が訪ねていらっしゃいました。UDSが企画、スポンサー開発、設計を担当したキザニア東京のような職業体験施設を中国で立ち上げたいのご相談でした。それがきっかけになって中国でのプロジェクト藍天城EEcityが始動しました。子どもの社会教育・職業体験施設として企画、設計、運営から人材教育、スポンサー開発までトータルにコーディネートするプロジェクトだった藍天城EEcityは、キザニア東京を立ち上げた中川さん（現代表取締役社長の中川 敬文）らが一年間くらい北京に常駐して完遂してくれ、とても高い評価をいただくことができました。これが一つの布石となってその後の中国でのプロジェクトにつながっていきました。

日本はこの先少子化でマーケットがどんどん縮小していく。一方中国のマーケットは膨大な規模があり、新しいものが求められていたのですが、それに応えられるクリエイターが少なかったので、大きなチャンスがあると強く感じました。中国にいち早く入って行って、中国事業にも本腰を入れよう。そうして私は2011年に家族とともに中国・北京に移住しました。

小さな実績の積み上げ

当時、北京はわたしと王さんと濱岸さんと藍天城プロジェクトがきっかけで入社くださった方の5名。私の自宅をオフィス代わりにしていました。

北京に渡ったときの大きな仕事は、北京市内の古い火力発電工場を、クリエイティブなまちにコンバージョンするD-PARKというプロジェクトでした。そこにホテルとライフスタイルショップを立ち上げる予定で、オフィスも設ける予定だったのですが、最後の最後、契約書のサインをするだけ、の状態で最終的な許可が下りず頓挫してしまっていて。しばらく後にD-PARKにオフィスを借りることはできたのですが、結局自宅オフィスは2年くらいの間続きました。

当初予定していたオフィスが借りられなかったことで、会社立ち上げにはとても苦労しましたが、その時の経験が北京・中間村エリアの旧本屋街を、若い人の起業を促進するベンチャーサーブisiaエリアにリノベーションする、創業大街プロジェクトに生きました。中間村創業大街は中国の国営デベロッパーがクライアントのプロジェクトで、首都思ではまは全体の建築概念設計から、景観整備、各建

物の用途変更提案、数物件のリノベーションなど多くを手がけているのですが、その一角に、会社設立に必要な手続きを全て完了することができます、常駐の弁護士にも相談ができるという創業支援事務所を提案して作りました。

今、この創業大街は「科学技術創業の発祥地」と呼ばれていて1日で平均1.6社の企業が生まれ、1日1社が融資を獲得しているというデータもでています。2018年には首都思が企画・設計・運営をする、まちで働く人たちのための食堂「創業食堂」とブックカフェ「書・茶」やブックショップ「inno LIB」もオープンし、長く継続的に携わっているまちづくりプロジェクトになっています。

中国と日本は言葉や商習慣の違いはありますが、クライアントの要望をしっかりと把握して差別化できるものを提案し、小さな実績を積み上げて信頼関係を作ってリピートしてもらおう、という点では同じです。ただ私が中国に渡った当時中国では、UDSのことはもちろん代表実績であるキザニア東京もCLASKAもあまり知られていません。またCLASKAにせよホテルカンラ京都にせよ、規模が大きくなかったため、規模の大きいものが良いとされ、信頼感となる中国ではかなり苦労しました。

中国でも日本と同様に、企画と設計と運営を一体で手がけることで、まちにとってよい場ができるとの思いがありましたから、企画・設計・運営三位一体のプロジェクトの実現を求めて、大連や蘇州の温泉旅館や海南島のレストランなど実績をていねいに積み重ね、ノウハウと仲間を増やしていきました。そのノウハウと実績でようやく実現したのが2018年6月北京に開業したMUJI HOTEL BEIJINGです。



中間村創業大街に企画した、創業支援事務所。中にある窓口を1つずつ選んで手続きをしないと、1つの会社が立ち上げられるという仕組みです。



2011年秋、当時のスタッフとその家族。北京市郊外の黒山村にて。



2011年、北京に開業した子どものための社会教育・職業体験施設藍天城EEcity。キザニア東京立ち上げのノウハウを生かし、企画・設計・運営から人材教育・スポンサー開発、VIに至るまで手がけました。



MUJI HOTEL BEIJING 1階の、地下1階の無印良品店舗とホテルをつなぐ、高さ約17mの吹き抜け。壁いっぱいには並んだ無印良品の商品が無印良品らしさと同時にホテルらしい高級感を。



夕暮れ時、MUJI HOTEL BEIJING 4階、MUJI Dinerのテラスから臨む天安門広場の夜景。



入り口から窓へずっとロングカウンターが伸びる客室。仕切りを最小限にしてひとつながりの伸びやかな空間にすることで心地よさを追求しました。

北京×まちづくり

MUJI HOTEL の構想に関しては中国に渡るずいぶん前から良品計画の金井会長とお話していました。現実化するまでには長い間、紆余曲折があったのですが、中国を象徴する、中国の顔と言ってもいい天安門広場を臨む場所で運営と経営まで手がけるホテルを開業できたことは本当にありがたい感慨深いものがあります。

MUJI HOTEL BEIJINGがあるのは、天安門広場を目の前に臨む北京市の新たな文化発信シンボル「北京坊」の一角です。周辺に「胡同」と呼ばれる細い路地が残るこのエリアの開発事業者は、まちの保全と発展のために北京の古い町並み一帯を管理している国営企業です。この場所に、まちに開かれながら、地域の文化を汲み取って発信できるようなホテルをつくりたいと考えていました。そこで世界のホテルを研究されていたときに、UDSが以前手がけたCLASKAをお知りになってお声がけいただいたのが、このプロジェクトのはじまりでした。

MUJI HOTEL BEIJINGはこうした想いを柱にしながら、中国でも大変な人気を誇る無印良品の思想を体現するホテルであると同時に、北京のまちの文化に触れられ、ライフスタイルの豊かな方向へのヒントがある場所を目指してつくりあげました。

1階には、BOOK LOUNGEを設けていて、北京や旅行、ライフスタイルについての約8000冊の本を陳列・販売しています。まちのリビングや図書館のような場所になればとの思いで企画しましたが、

宿泊のお客様はもちろん、近くの胡同に住むおじいさん、おばあさんがお散歩中に立ち寄られたり、地元の親子がのんびりと本を読んでいたりと、幅広い層のお客様に親しまれています。

BOOK LOUNGEには人と人がつながるコミュニケーションの中心となるようにと、約12メートルのビッグテーブルを配置しています。2018年秋にはこのテーブルを囲んで、「まちづくりにおけるシェアの思想」というテーマでトークイベントを開催したのですが、地元の方を中心に大変たくさんの方にお集まりいただきとてもいい空気が生まれていました。こういった企画などを通して、自分たちが暮らすまちや生活に新たな気づきが生まれるホテルとなるべく、日々運営に取り組んでいます。



ある日のMUJI HOTEL BEIJING 1階 BOOK LOUNGEの様子。

それぞれの国の良さと強みを生かして

日本国内では中国に関してはネガティブな報道が少なくありません。実際中国には13億人がいますので、もちろんいろんな人がいると思いますが、私が一緒にお仕事をさせていただいてきた人たちは総じてとても勤勉で上昇志向が強く、優秀です。日本ではどちらかというと、シンプルに「いいものをつくってください」というオーダーが多いですが、中国では「今までになかったものを考えて欲しい」ということをよく言われます。国土も大きいせいか、大きな絵を描く方が多くて、大企業でも政府でも、新しいチャレンジに対して、「ぜひやってみよう!」と言われてもらえることが多く、そんな環境だからこそ天安門が目の前のあの場所でのMUJI HOTEL BEIJINGも実現することができました。

私がいた7年で中国はずいぶんと変化を遂げ、マーケットも成熟してきました。海外企業も多く参入してきていますので競争も厳しいですが、中国で長らく仕事をしてきて、謙虚さや細やかさなど、日本人の、日本的な仕事のよさを武器にすれば中国はもちろん、海外にチャンスは大きいと感じています。

昨年2018年には海外現地法人2か国目として韓国UDSを設立しました。韓国は成熟マーケットですが、日本のデザインが高く評価されていて、ここにも大きなチャンスがあります。中国も韓国も、法的には子会社ですが、上下の関係ではなくそれぞれ独立している会社が並列して協力しあって成長していくことを目指しています。

中国、韓国に続く海外展開として、スリランカでのリゾートホテルプロジェクトも始動しています。今はまだ日本のUDSがプロジェクトも人数も多いですが、今後は中国をはじめとする海外がその数を追い越すことも遠い先の話ではないかもしれません。

若い人たちへ、そして東洋というルーツ

新しいものにチャレンジすることはとても楽しいことです。そして築き上げて来た能力を別の国で発揮して役に立てることはとてもやりがいがあります。その視点でどんどん海外の仕事にチャレンジして自分を磨きながら、世界を舞台に、まちを豊かに楽しくしていただきたいと思います。

私が中国で暮らし、仕事をしてきた中でより強く感じるようになったことに、世界という広い視点で見たときに、われわれ東洋人は東洋の良さを見直すべきではないか、ということがあります。中国や韓国などアジアの隣国は根底に通じる価値観、宗教観を持っているので、うまく協力してやっていけると 생각합니다。東洋が融合することでまだまだ発揮できるものがあるはず。東洋を中心に据えた文化形成を東洋の国々で協力して進めていたら、そんな願いも抱いています。



梶原と一緒に中国に渡り誉都思を立ち上げ走ってきたのが現在中国チームを率いる王銳、方宏康、濱岸健一です。それぞれ北京の企画・設計チーム、上海の企画・設計チーム、運営チームを率いる3人に誉都思のこれまでとこれから、そして中国でのまちづくりについて聞きました。

—一番 UDS 歴が長い王さんは UDS 初の新卒入社組ですよ。



王 はい。高校を卒業した後日本の大学に留学しました。建築の勉強をして建築事務所でインターンをしていたのですが、その頃デザイン系の雑誌でよく UDS の案件の紹介がされていたんです。実際に CLASKA やコーポラティブハウスなど見てみるととても面白くデザインもいい。そしてハードの話だけではなくて、人やソフトに関する視点が深かったのに惹かれてホームページから応募して入社しました。東京の UDS で働いた後、藍天城を北京常駐で担当することになり北京に異動して今に至ります。

—その後梶原さんが中国・北京へ移住され、そこに合流したのが、元々はランドスケープデザイナーとして UDS に入社した濱岸さんですね。



濱岸 北京でランドスケープを学んで大学院を出た後オフィス家具メーカーで2年ほど働いて、そろそろ日本に帰って就職しなければと思っていたときに UDS に出会いました。雰囲気よかったのと面接に4時間という梶原さんの熱いお話に惹かれて入社しました。

入社して1年経たないうちに、梶原さんに合流する形で北京に渡りました。そして2ヶ月もしないうちに大連の温泉旅館の運営のお話があり、そこから運営畑をやっています。運営は自分にとってはじめての世界でしたから運営収支のつくり方も分かりませんでしたが、東京の UDS のホテル運営チームに助けをもらい、大連の温泉旅館開業時には実際にヘルプに駆けつけてもらって立ち上げました。



わらい
王 銳

1981年、河北省保定市生まれ。高校卒業後、日本へ留学。日本大学芸術学部大学院卒業後、2008年 UDS 入社。2014年より譽都思建築咨询(北京)有限公司董事。お酒を飲みながら友人の体験談を聞くことが何よりも好き。いろんなところで面白い物件を探すのが趣味。



ほうこう
方 宏康

1980年、安徽省生まれ。安徽建築工業大学卒業。地元安徽省のデベロッパーを経て、2002年から福井大学の研究生として入学し、大学院卒業後(修士を取得後)UG都市建築を経て2010年 UDS 入社。2014年より譽都思建築咨询(北京)有限公司董事。休日にはDIY、釣りなどで家族と一緒に時間を過ごすのが好き。



はましけんいち
濱岸 健一

1980年、富山県生まれ。千葉大学でランドスケープを学び卒業後、中国政府交換留学生として北京林業大学院へ、オフィス家具メーカーの北京オフィスを経て、2010年 UDS 入社。2015年より譽都思酒店管理(北京)有限公司董事。趣味は、カメラとオーディオと大相撲観戦。清の時代の古地図を見ながら、中国の歴史ある場所を巡ること。



方 蘇州や上海など運営を含むプロジェクトでは濱岸さんはランドスケープも担当していて、クライアントに紹介するときに、「運営のトップなんですけどランドスケープもやります」、って紹介すると戸惑われます。笑

—方さんはどういった経緯で UDS に?



方 わたしは日本の大学院を出て日本の設計事務所でも働いていましたが、リーマンショック後は建築設計業界がとても厳しくなっていて。中国へ帰るか、日本で設計以外の仕事を見つけるかで迷っていた時に、当時の設計事務所の先輩のつながりのあった中原さん(現在の UDS 設計チームのトップ)に「これから中国のビジネスもやっていきたいから UDS に来ませんか」と、誘ってもらい UDS に来ました。

1年ほど東京で働いてから2011年の8月にひとりで上海に異動しました。ワインバーや飲食店など小さな設計の仕事地道に積み重ね、少しずつ大きな案件を受注できるようになってきて、今では何万平米のホテルの設計のお話もいただけるようになりました。最初は先輩の事務所の一角を間借りして1人で始めた上海オフィスも、メンバー増加に伴う3回の引越しを経ていまは15人のチームになりました。



王 北京のオフィスも会社の成長に伴って手狭になり、2018年に MUJI HOTEL BEIJING に近い昔ながらの雰囲気が残るエリアに引っ越ししました。



濱岸 昨年で一気に運営拠点が増え、運営スタッフも100人を超える規模になりましたからね。

MUJI HOTEL BEIJING はホテル部分はもちろんですが、最上階のレストラン MUJI Diner や1階の Café & Meal MUJI も私たちが運営しています。そして MUJI HOTEL BEIJING とほぼ同時期に、ベンチャーサービスエリアとしてのまちづくりを手がけている中間村創業大街に、近隣ワーク向けの食堂「創業食堂」とブックカフェ「書・茶」、「Inno LIB」を開業しました。2015年から継続的に携わっているこの中間村大街には実際にたくさんの若い起業家やベンチャーが集まっています。ここで立ち上げて大人気となり今は全国展開をしている中国式バーガーショップもあります。私たちがも負けてはいられません!



- 1 約100年前の建築をリノベーションした北京オフィス。中央の吹き抜けで繋がった2階は設計メンバーのデスクが並びます。
- 2 北京オフィスのテラスで記念撮影。日差しがまぶしそう。
- 3 上海オフィスの1階の入り口で集合写真。外出中メンバーが多く人数が少なく見えますが実際は15人のメンバーがいます。
- 4 庭付き住戸が連なる長層形式の住宅の1軒。3階建ての建物が上海オフィスです。3階がオフィス部分。高い天井高とアーチ形状の窓で明るさが広がる居心地の良い空間です。



上は、MUJI HOTEL BEIJING 4FのMUJI Diner。下は1FのCafe& Meal MUJI。どちらも菅都恵が運営しています。

— 中国のマーケットに関して日本と比較して感じるところとチャンスはどんな点と考えていますか？



方 中国でも、企画と設計と運営までできるということが評価されてお話をいただくことが多いですが、中国のクライアントさんは運営に関して、サービスの質などにはあまり興味がなく、数字をとにかく重視している場合が多いです。もちろんそれではお客様がついてきませんからこれからサービスの質も同時に重視するように変わってくるでしょうし、そうなって来たときにやはり私たちが日本で持っている運営、おもてなしのノウハウ、実績がより強みとして発揮できるようになってくると思っています。



王 設計の場合はクライアントの方が海外留学経験があったり、世界を飛び回っていいものを見たりしている人が増えているので、設計に対する判断力やセンスは猛スピードでレベルアップしています。その結果の一面として、事業収支関係なく

お金をかけていいデザインをどんとやるのが評価されている部分があります。そうなると、きっちり事業収支を組んで、長く続いていく、まちのためになるような場所の提案をしていく私たちは評価されるのが難しい場合もあります。

でもこれはどこかで変わってくるはずだと思っています。今までは「すごいデザインできます」といって西洋的な、ゴージャスなデザインを提案すればOKだったかもしれませんが、今はちょっとずつ機能性やシンプルさや自然感などを評価する流れが強まっていますので私たちのチャンスがもっと大きくなると思っています。



濱岸 昨年、MUJI HOTEL BEIJINGがある北京坊でライフスタイルデザインウィークが開催され、その開幕式でUDSの設計部門を統括している中原さんが招待されて特別講演をされました。テーマは「これからのライフスタイルホテル」。故宮博

物館の館長や文化庁長官など、国家級のVIPも参加した開幕式での講演だったのですが、MUJI HOTEL BEIJINGはもちろん、リノベーションでかつ各部屋を異なるアーティストが手がけているホテル アンテルーム 京都や、誰でも立ち寄れるショップに職人の工房を併設したホテル カンラ 京都などの事例に、集まった聴衆の方々から大変よい反応をいただきました。実際に、講演がきっかけとなって早速問い合わせも多数いただきました。この講演テーマが示しているように、中国でもライフスタイルを重視する時流が来ています。もちろん、北京でもデザインホテルは増えていますが、UDSがまちとそこを訪れる人に視線を向けてやってきたことが中国でもこれからますます強みになってくると感じています。

—「まちづくり」の観点で、中国における課題はどんなことがあると感じていますか？

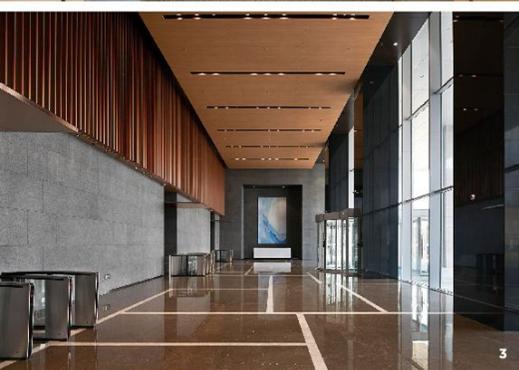


濱岸 中国はここ20年ほど、空前の好景気で経済成長も右肩上がりだったので、目先の収益優先で、住宅やオフィスビルなどをとにかく作れるだけ作ってきました。開発がまち全体にどのような影響があるか？どうしたらこのまちがさらに良くなるか？社会的意義は？という考え方がまだまだ追いついていないというのが率直な実感でした。

ただ、そういった時期を経てここ数年は、「まちづくり」の意識が、急激に高まってきているのを感じています。政府や国営デベロッパーも率先して、将来に向けた「まちづくり」を意識するようになり、今後近い将来、主力となるであろうAIや5Gの社会において、どのようなまちをつくるべきか？より人々のライフスタイルに根ざしたまちのあり方は？等の議論が行われるようになっています。この動きはこれからさらに加速していくと思います。

左 2018年6月にオープンした中間村創業大街の周辺ワーカ向け食堂「創業食堂」。右「創業食堂」の向かいにあるブックカフェ「書・茶」。





—これからの中国でのまちづくりで、誉都思として意識しているポイントはどのような点がありますか？



王 昨年2018年の11月、MUJI HOTEL BEIJINGで、成瀬・猪熊設計事務所の猪熊純さんと梶原さんとの講演会で「シェア」という概念を採り入れた「まちづくり」をテーマにお話いただきました。中国の方たちの関心も非常に高く、この「シェア」というキーワードは、今後の誉都思としてのアプローチに欠かせない視点だと思います。



濱岸 例えば、現在の北京の住宅の賃料は、国民の所得水準からみれば非常に高額で、20～30代のスタッフたちが北京で生活するには、3人くらいでシェアして賃貸アパートに住むということが当たり前です。様々な面で「シェア」が身近にあり、またシェアしないと生きていけない状況が中国にはあります。こうした「シェア」の概念を取り入れた、中国ならではの新しい仕組みを作っていく、ここにチャンスがありそうだと思います。



方 また、中国ではハードの面で力のある企業が多いですが、これからは運営を含めてソフトの面からまち全体を向上させることに対する需要が高まると思います。その点で強みを持つUDSに大きなチャンスがあると思っています

—今後はどのようなことをやっていきたいですか？



王 UDSが築き上げてきたノウハウをベースに、MUJI HOTEL BEIJINGのような運営まで手がける案件ができるようになりましたが、中国と日本では国民性やマーケット状況など違うところがたくさんあるので、今後はUDSの強みやノウハウを生かしながら、中国の誉都思だからこそできる、新しい事業を見出して取り組んでいきたいですね。

またこれまでのUDS、誉都思は日本と中国、というラインの動きでしたが、韓国UDSも立ち上がったので、韓国も含めてア

- 1 中国の古都、蘇州で企画と設計を手がけた「日本式温泉の旅行」を体験できる「紫一川温泉ホテル」。
- 2 中国国内で急速に拡大しているコワーキングスペース「FUNWORK」のインテリアデザインやVI、アートワークを手がけています。
- 3 長春市のオフィスと商業の複合施設のWEIFENG MALLの内装設計を担当。写真はオフィスのエントランスエリア。

ジアでどう連携して地域に貢献していけるかという視点で新しい価値を生み出していきたいです。



方 中国に進出する日本企業では日本でのやり方そのままにやって撤退するところが少なくなくて、勝ち残れるのは柔軟に現地化している会社です。わたしたち誉都思は日本の企業ではあるけれど日本企業っぽくはないなと思っています。最初から梶原さんは“現地の肌感覚で現地に合わせた形でやっていきたい”と言っていましたので。

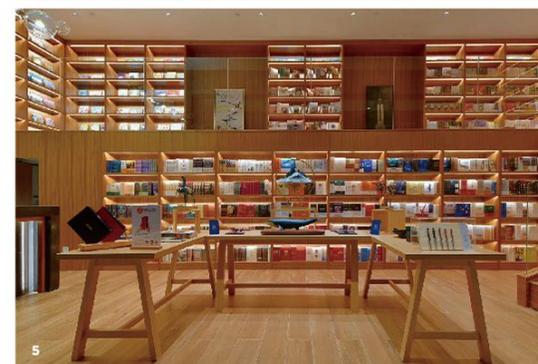
ものすごいスピードで変化していくこの中国マーケットで、感覚を研ぎ澄ませて潮の流れを見極めながら、日本の会社であるUDSのこまやかさ、丁寧さに裏打ちされた“責任を持って確実にいいものを提供する”という強みを発揮していきたいです



濱岸 今の中国の企業は、とりえずやってみて、ぶつかって“あっ、痛い”と思ったら考える、という感じのことがあります。一方で中国に進出している日系の企業は慎重がゆえになかなかものが進んでいかないことが少なくありませんが、私たち誉都思はその中間的なところにいると思います。どちらの良さもバランスよく取り入れながら、そして日本のUDSとお互いに密に連携しながら、強みを磨いていきます。

梶原さんが、『日本も中国も儒教がベースになっていて、DNAもすごく近いものがあるはず。中国は文化大革命などで一時期混乱の時代があったけれど、もともとは文化性を重んじる人たちで、文化性を求めるDNAを持っている。違う点は認識しつつ、お互いを認め合いながらいいところをやっていくべき』とおっしゃっていたのですが、中国で長い間生活し、仕事をしてきた中でまさにその大切さを感じています。国が違うと文化も考え方も違う部分はもちろん出てきますが、お互いについて勉強をしながら相手の良さを知り、それぞれのいい面を重ね合わせてまちに新しい価値を生み出していきたいです。

- 4 企画、内装設計、運営コンサルを担当した上海のカレーレストラン 游香食家。
- 5 設計を手がけた、中国穀物関連最大手の国営企業「中粮集团」ビルの共用スペース。
- 6 中国不動産開発大手が新たに展開する「SOFT HOTEL」の企画から外観、インテリア、家具、ロゴ、サインまで総合的に手がけています。写真は2018年西安に竣工した最初の物件。重慶や上海でも進行中。



GO NEXT! さらなる海外展開



HOTEL CAPPUCCINO

2018年6月、中国に続く2番目のUDS海外現地法人として、韓国にもUDSが立ち上がりました。
立ち上げメンバーは代表の趙 章桓と、
企画・コーディネイトの李 命宰、
そしてそのほか全管理業務を一手に担当している成 京信です。

前職の際、UDSが韓国ではじめて設計を手がけたプロジェクト「HOTEL CAPPUCCINO」でUDSと関わりがあり
それがきっかけでUDSに入社した韓国UDS代表の趙に、韓国UDSのこれからについて聞きました。



チョ チャンファン
趙 章桓

韓国チュンナム生まれ。アメリカで高校を卒業し、ワシントン大学セントルイス校で建築、政治学を専攻。韓国/外国系企業での不動産開発企画、投資、海外事業関連業務を経て、2018年UDS入社。

UDSの印象はクリエイティブでフレキシブル。欧米のデザインの事務所とも仕事をしていますが、一緒に話をしながらよりよいものを作っている感じがとてもよくて、魅力的に感じました。いつか機会があればまた一緒に仕事をしたいと思っていたところ、UDSが韓国の事業を本格化させるというので、そのタイミングでUDSに参画することになりました。

オフィスを設けたのは韓国・ソウルのブルーハウスと呼ばれる大統領官邸に近いエリアの一角です。昔から文化的な職業の人たちが集まって古い建物も残っている清雲孝子洞（チョンウニョジャドン）という文化保存地域で、最近古い建物をリノベーションして生まれ変わるお店などが増えている注目のエリアです。

これまで韓国では大きなデベロッパーばかりで、収益性の低い小さなリノベーションを手がける会社はほぼありませんでした。リノベーション物件が出て来たのはここ2-3年のことです。

半分以上の人口の人がソウルとソウル周りに住む韓国では、人の意識として、家は住む手段でというよりは投資の手段になっている面が大きいんです。その環境の中マンションは不動産価値が下が



- 1 韓国・ソウルで開催されたホテルフェア2019に中原が登場。会場には約250人にお集まりいただき満員御礼で熱気にあふれていました。
- 2 韓国で出版されたプロジェクト・デザイン・パターン出版記念イベントの様子@ソウル。
- 3 韓国UDSオフィスの一角。

らないと思われていて、一軒家には売買価値があまりつかないという現状があります。

この思考が基本にあり、大手企業が建てたものでない価値が上らない、つまり、大手企業の立てたものは投資価値が高いと判断されてきました。ですので、大手企業が立てる団地はすぐ売れる→大手企業にとっては大きな団地住宅を計画して販売することはとても効率がいい→大きな団地住宅ばかりが続々立つ。という循環に長らくの間なってしまっていました。

そんな背景があるので、ソウルのまち中に小さなサイズの住宅は少なく、ましてリノベーションを施した住まいなどこれまであまりありませんでした。人が住んでいなく、お店ばかりになってしまふ場所。果たしてこれは「まち」と呼べるのでしょうか。

UDSもコーポラティブハウス事業からスタートしましたが、まちの基本は住まいです。今の韓国の20代30代は、結婚する人も減ってきていて、大きな住まいは必要なくなってきています。マンションの値段が上がっているのに買えないという面もあります。社会的にそんな変化が起きつつあるので、小規模な住宅や、そのためのリノベーションなどの需要は高まっています。でもそのノウハウを持っている企業が韓国には少ない。ここはチャンスなので、韓国UDSでは住宅事業にも注力していきたいと思っています。

また、かつてない人口減少時代を迎えるなかでの地方創生の動きなど、課題先進国である日本が直面し、乗り越えていく課題は近い将来、韓国でも起こってきます。その点でも、UDSの実績やノウハウはこれから韓国で、海外でより必要とされてくると考えています。

日本は細かな部分のつくり込みや職人気質などが素晴らしい、韓国ではそういうものに慣れる人が増えています。その空気感はあるんだんと若い層を中心に広がっていて、今韓国では、日本をベンチマークにして、日本人の感性にまかせたいというクライアントも増えています。

韓国ではデザイン業界まわりの多くの人がUDSを知っていて、日



HOTEL CAPPUCCINOに続く韓国で2件目のプロジェクトの高級ウェルネスリゾート「PARK ROCHE」。全体コンセプト企画と共用部デザインのコンサルティング、コンセプトに基づいたアクティビティやレストランなどの運営プログラムについての提案を手がけました。



NODE UEHARAの常連だったお客様からご相談を受けて設計を手がけたカフェ CLINK。

本の人たちが思っている以上に知名度があります。さらに MUJI HOTEL BEIJINGを手がけている会社ということでより信頼も得られていて、いいタイミングで韓国に進出できました。このよい波にうまく乗って、日本のUDS、中国の誉徳思と連携しながら韓国でのまちづくりに貢献していきたいです。

2020年にホテル アンテルームをソウルで開業します。ぜひソウルにいらした際には泊まりにいらしてください。

さらに広がる、国と事業

中国では鄭州で水族館のプロジェクトも進行中。

さらに韓国に続く海外3か国目となるスリランカで、リゾートホテル計画も進めています。

いずれも2020年開業予定。ご期待ください！

 SRI LANKA

スリランカリゾートホテル



8つの世界遺産や豊かな自然、四方を囲む海でのアクティビティ、アーユルヴェーダなど、豊富な観光資源を有するスリランカ。内戦終結後、経済成長の加速とともに外国人旅行者が増加している一方で宿泊施設が不足しているマーケットです。UDSではこのスリランカに着目し、現地パートナーらとタッグを組み、南部のビーチ、メリッサでリゾートホテル計画を進めています。



 CHINA

鄭州海昌海洋公園



中国最大手の水族館テーマパークオペレーターが中国河南省の省都鄭州に開業する、水族館を中心としたテーマパークのジンベエ館、イルカ館、クラゲ館、ペンギン館、極地館の5パビリオンの企画・設計を進めています。繊細さにおいて世界最高品質の日本クオリティを体現し、ローカライズした形で鄭州の地にオープンすることを目指して取り組んでいます。水族館プロジェクトは台湾などでも進行中です。



ダージャーハオ

ユードゥーズ

大家好！ 誉都思

約150人のメンバーが企画・設計・運営を通じてまちづくりにつながる事業を展開しているUDS中国現地法人、誉都思の最新プロジェクトをご紹介します。
※「大家好! (ダージャーハオ)」は你好 (ニーハオ) の複数形で「皆さんこんにちは」の意味。

北京 Beijing



創業食堂

Cafeteria

旧市街からベンチャーサービスエリアへのエリアリノベーションを2015年から手がけている「中間村創業大街」にオープンした食堂。誉都思が企画、設計、運営を手がけ、「カフェより豊富、食堂よりスタイリッシュ、レストランよりカジュアルな飲食空間」をコンセプトに創業大街で働く人たちの食をサポートしています。店内は開放的なバーカウンターに、グリーンやスパイスボトル等を見せた収納がアクセントとなりスタイリッシュでありながらもリラックスできる空間に。お料理は新鮮な食材にこだわり、定番の中華料理に加えて、日替わり麺や水餃子などなど毎日食べても飽きがないようなメニュー構成となっています。



書・茶

Book cafe

こちらと同じく「中間村創業大街」にオープンしたブックカフェ。「本(=書)」と「お茶(=茶)」をテーマに中国の文化を感じながらゆっくりと本が読める空間を目指しています。店内は機能的でシンプルな空間とし、アクセントとして所々に中国の要素を取り入れています。中国の食文化を現代的にアレンジしたメニューと様々なフレーバーのお茶、そしてそのお茶を使ったお料理やデザートを提供しており、好きな本を片手にゆっくりとお過ごしいただけます。

上海 Shanghai



FUNWORK SHENZHEN

Coworking Space

中国国内で20店舗展開し、急速に拡大しているコワーキングブランド「FUNWORK」の深圳オフィスのインテリアデザイン、VI、アートワークを手掛けました。The Nature Loungeをデザインコンセプトに、シンプルでありながら緑や木等の自然要素とホテルラウンジを合わせた空間を特徴としています。UDSでも数多く手がけてきたホテルの要素を全面に打ち出し、他のコワーキングスペースとのデザイン的な差別化を図りました。左右対称のプランニングで高級感を演出し、ロングテーブルやソファ席等、様々な居場所を作ることで用途に合わせた使い方ができるようにしています。ランドスケープはUDS小泉が担当。シンプルさの中にもアジアの要素を感じる設えとなっています。



FUNWORKプロジェクトは深圳に続き、今後開業予定の上海や北京、成都でも進行中です。

Hotel Project



渋谷ストリームエクセルホテル東急 渋谷らしいイメージを新たな視点で発信

大規模複合施設「渋谷ストリーム」内に開業した、東急ホテルズが運営する「渋谷ストリームエクセルホテル東急」。UDSでは、the range designと共に「大人な遊び心のある渋谷クリエイティブ」をキーワードに、客室、共用部、および家具などのインテリアデザインを手がけました。177室の客室は「クリエイターのレジデンス」をテーマに、身支度をビジュアルで楽しむワードローブ「ファッションクロック」を入り口に配置し、部屋に入った瞬間の渋谷らしいファッションブルサと驚きを演出。また、奥行き長いヘッドボードにソファやサイドテーブル、照明を一体的にしつらえるなど、非日常性と居心地感のバランスが楽しめる空間を実現しました。9～13階の客室フロアのエレベーターホール前には、宿泊者の滞在がより豊かになるよう、フード、ドリンク、スタイルケア、シューケア、アクティブなどをテーマに宿泊者が自由に利用できる共用スペース「マイスターーム」を企画しています。館内のアートワークとサインはFJDの藤田二郎氏が担当。流れ（ストリーム）とスクランブル交差点をイメージした共用部の大型アートパネルや、各年代の渋谷のカルチャーを象徴するアートがホテル内を彩ります。



Information
所在地 千150-0002 東京都渋谷区渋谷3-21-3
構造 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造
規模 計画建物：地上35階地下4階
対象フロア 4階及び9～13階部分
ホテル床面積 約8,500㎡（バックヤード含む）
オープン 2018年9月13日
Web <https://www.tokyuhotels.co.jp/stream-e/>
UDS Project Member 小田島 康樹



フェリスヴィラスイート 伊良部島・佐和田 ～離れ～ 気配を感じさせない建築 自然との同化

沖縄県宮古島から橋で繋がる伊良部島の佐和田の浜を一望できる場所に位置するオールヴィラタイプのフェリスヴィラスイート 伊良部島・佐和田。2018年8月に新たに誕生したプレミアムレジデンス「～離れ～」の設計を担当しました。ビーチに行く人と視線が交わらないよう、またサンセットが見やすくなるよう、客室の床面を1m高く設定。その高さはアプローチの演出にも活かされ、建物に吸い込まれるような長いスロープが客室に入る高揚感を高めます。アプローチの延長上に長い廊下とカウンターが続き、その視線の先には沖縄の珊瑚をモチーフとした立体的なアートを備え沖縄らしさを演出。建物全体を古材でくろみ、外構には大きな琉球石灰岩の岩を積み上げることで、より自然に溶け込み建築自体の存在感を消し、目の前に広がる透浅な海と美しいサンセットや飛行機の離発着を望む景色を引き立たせています。282㎡の客室内にはダイニングやリビング、キッチン、ライティングデスク、デイベットなどを備え、外部にはパーベキューテラスやジャグジー、プール、ハンモックを設置しリゾートらしい優雅な空間デザインとしました。



Information
所在地 千906-0507 沖縄県宮古島市伊良部佐和田1725-9
構造 鉄筋コンクリート構造（RC造）
規模 地上1階
敷地面積 1,017㎡
延床面積 282㎡
オープン 2018年8月1日
Web <https://nikken-hotelimgt.co.jp/sawada/>
UDS Project Member 中泉 典人 / ドゥルメグァ クリスタ



はいさい 沖縄UDS

2016年10月、沖縄に誕生したUDSのグループ会社、沖縄UDS。
2018年には宮古島HOTEL LOCUSをオープンし、
沖縄各地でのホテルやリゾートなどの開業に向けて活動しています。
※はいさい 沖縄方言で「こんにちは」の意味。女性の場合は「はいたい」といいます。

島のつくり手が集う LOCUS MARKETを開催



2018年11月、「島全体をリゾートとして楽しんでもらうための拠点」を目指すHOTEL LOCUSを会場に「LOCUS MARKET」が開催されました。島内外で活躍するつくり手さん20名が一堂に会しそれぞれのブースで商品を販売。3日間で500名を超える方々にいらしていただき、「いつもホテルの前を通ってもなかなか中まで入っていけなかったのが今日は来られてよかった」と話す地元の方も多く立ち寄ってくださった大盛況のイベントになりました。2019年2月にも2回目を開催。これからも定期的に開催していきます。



HOTEL LOCUS
宿泊マネージャー
兼 兼業漁師
高田 和夫

私たちは、LOCUSが島の方々に「この島にできてくれてありがとう」と思ってもらえることを目指しています。このイベントは、観光で訪れた方が魅力ある島のつくり手さんや地元の方と出会う場となり、ホテルの外へ出てショップや工房へ直接足を運んでもらうきっかけをつくりたいという気持ちで企画しました。約半年をかけて、つくり手さん一人ひとりに会いに行き、想いに共感いただいた皆さんのお力でイベントを開催することができ本当に感謝しています。これからは地域を訪れる人や地域の人たちが集まって交流が深まるような場をつくってまいります。

Inside UDS

UDSの裏側やちょっぴりとしたニュースをお届けします

2018



July / October / January

● イタリア建築アワード / グッドデザイン賞 / 台東区まちづくり賞

「ホテル カンラ 京都」「ホテル アンテルーム 京都」「京都グランベルホテル」が世界的なデザインアワードの一つである「A' Design Award」を受賞。「INBOUND LEAGUE」「NODE GROWTH 湘南台」は2018年度グッドデザイン賞を、「BUNKA HOSTEL TOKYO」は第3回台東区景観まちづくり賞リノベーション部門を受賞しました。各プロジェクトにご協力いただいたみなさま、ありがとうございます。



September

● 滋賀県・近江八幡の宿泊施設と運営提携

滋賀県のアンテナショップ「ここ滋賀」のプロジェクトをきっかけにオフィスを構えた近江八幡市で、現地のゲストハウス「Machiya Inn」、「Little Birds Hostel」と運営提携をはじめました。運営支援とともに、UDSのグループ会社である旅行会社ELLISTAの造成する近江八幡ツアーを「ホテル カンラ 京都」でゲストに案内・販売、送客する仕組みも展開。地方都市の内側と外側、両面から交流人口の増加に取り組んでいます。



November

● 「プロジェクト・デザイン・パターン」韓国版出版

2016年に発売された、UDSの企画のつとをまとめたUDS会長梶原と慶應SFC井庭崇教授との共著「プロジェクト・デザイン・パターン」。“ぜひ韓国でも出版したい”というオファーをいただき、晴れて韓国でも出版されました。代表の中川が招かれた現地での出版記念トークイベントもおかげさまで大盛況。表紙や中面のイラストもローカライズされ、発売から2週間ほどでビジネス書分野でベストセラーとなるなど、注目をいただいています。

2019



February

● 東京・日本橋浜町にホテルとチョコレートショップが開業

安田不動産の日本橋浜町街づくりプロジェクトの新拠点となる「HAMACHO HOTEL & APARTMENTS」が2019年2月15日、日本橋浜町に開業。そのホテル部分と、チョコレートショップ「nel CRAFT CHOCOLATE TOKYO」を、UDSが企画・内装設計・運営します。UDS初となるチョコレートショップでは、「手ごこ」と「日本らしさ」をキーワードにし商品を展開します。カフェも併設しまちの方が集い、交流が生まれる場となることを目指します。



February

● 書籍「おもてなしデザイン・パターン」出版

「プロジェクト・デザイン・パターン」につづくUDSと慶應SFC井庭崇研究室との共同研究となる書籍「おもてなしデザイン・パターン」を出版。UDSのホテル・飲食店舗の運営メンバーが日々実践しているおもてなしの実例を調査・分析し、これからの時代に求められる「創造的おもてなし」の秘訣を28の心得として分類してまとめました。観光、接客業に限らない、すべてのビジネスパーソンに参考にしていただける一冊です。



April

● 廃校リノベーション教育施設 大日向小学校（しののえナプランスクール）

2019年4月に長野県佐久穂町の廃校をリノベーションして新たに開校する地域に開かれた「大日向小学校（しののえナプランスクール）」。「誰もが、豊かに、そして幸せに生きることのできる世界をつくる」ことを目指し、オランダ・イェナプラン教育の考えに基づいて設立されます。UDSは建築リノベーションの企画と設計を担当、さらには小学校での給食を運営します。ランチルームには地域の人たちも集まり、共に食卓を囲みます。

Coming soon

2019年5月OPEN



the rescue

沖縄県内でも希少性の高い天然ビーチと原生林に囲まれた手つかずの自然が誇る宮古島・東海岸。まさに隠れ家（ハイダウェイ）とも呼べる立地に沖縄UDSが手がけるリゾートthe rescueが誕生します。

「rescape」= retreat + escape。豊かな緑と宮古ブルーの海に囲まれた特別なプライベート空間で、青く澄んだ海や流れる雲、満天の星空、そよ風、大地の香り、穏やかに流れる時間に身をまかせることによる心と身体を取り戻す「rescape」をご提供します。

<https://the-rescape.com/>

2020年初旬 OPEN 予定



ホテル アンテルーム 那覇

那覇市の港湾エリアで、沖縄のリアルタイムなカルチャーを感じられる場として、京都の「ホテル アンテルーム 京都」と同一ブランドで展開。アートやカルチャーが集まり、さらに新たな賑わいを創出することを目指します。



（仮称）美栄橋駅前ホテル

ゆいレール「美栄橋駅前」の新築ホテルプロジェクト。空港や中心市街地へのアクセスが良く、ホテル滞在と市街地滞在を兼ねて楽しむ立地性を活かし、リゾート感や上質さがあがりもリーズナブルな価格帯からご利用いただける「都市型アーバンリゾート」をコンセプトに、別棟レストランやルーフトップバー、プールも備えたホテルとして計画しています。

Message from UDS Acters

UDSでは運営を手がける各拠点のスタッフをAct(行動)する人という意味でActerと呼んでいます。ホテル、レストラン、コワーキングスペース、書店、アフタースクール、公園など幅広いフィールドで活躍する各地のActerから、地元の見どころをお届けします。

続々と広がる

UDSの運営拠点

59 箇所
※2019年4月現在

ホテル	12	住宅	4
飲食	26	オフィス	3
子供	12	行政他	2



NEW HAMACHO HOTEL
前田 健吾

手ごとと緑に見えるまち、日本橋浜町。5月には神田祭りでエリア一帯が賑わいます。



NEW nel CRAFT CHOCOLATE TOKYO
村田 友希

なんとがらの老舗のお店に加え、ブックカフェやスター・ジャリーショップなど個性的なお店も続々と集まっています！



小石川テラス
栗下 智晴

1629年(寛永6年)に築いた「小石川後樂園」へぜひ、落ち着きます。



神保町ブックセンター
竹中 葉子

180店の古書店と50店の喫茶店、30店のカレー専門店があります！



NODE UEHARA
坂本 遥

センスのある個人店がたくさんありますが、愛媛産のNODE Acterの接客がイチバンのおすすめです！



リラックス食堂 HARAJUKU
清水 麻美

ファッション、トレンドのまち原宿。実は、明治神宮や東郷神社などホッとできる緑豊かなスポットも家々あります！



INBOUND LEAGUE
吳 易平

由緒ある個人店がたぎるまち原宿。実は、明治神宮や東郷神社などホッとできる緑豊かなスポットも家々あります！



NEW MUJI HOTEL GINZA
福島 悠

老舗と最新のスポットが混じり合う銀座のまち。昔ながらの伝統と最先端のトレンドを一度に楽しめます！



NEW MUJI HOTEL BEIJING
王 恒宝

なんとがらの朝天門。そして周辺にある昔ながらの胡同のまちなみが楽しいです。



ONSHEN RYOKAN 由縁 新宿
瀧 洋平

通入り口の花園神社にぜひ。新宿の緑や河川で昔ながら地元の方に愛されている由縁ある神社です。



子どもの森
金子 咲貴

短！緑馬区オリジナル色「おむすびグリーン」を5色も作ってしまおう！、みどり豊かな緑馬区は23区内で1番樹が多いんです。



レゴ®クリックブリック 南大沢店
小西 鞠花

東京にも関わらず多くの自然に囲まれますが、動物園や大学があって、幅広い年代の人が集まる人情味あふれるまちです。



ホテル エディット 横浜
松本 鏡大

野毛飲食店街には、美味しい料理・お酒がたくさんそろっています！ご紹介した3つですぜひお楽しみください！



ON THE MARKS
ボニック ルーカス

ドラえもん博物館と「かんな祭り」がオススメです！



NEW 創業食堂
程 堂

中国のシリコンバレーと呼ばれる「中关村」の真ん中にあり、中国の牧草原と注目をしています。PC関係で困ったらここで必ず解決できます！



NEW 香・茶
劉 佳

近くには中国の最高学府である「北京大学」があり、大学キャンパス内の美しい広園は全国的な観光地にもなっています。



レゴ®スクール湘南C-X
金谷 明和

サーフィン等のマリンスポーツを楽しむ人が多く訪れ活気がある近隣の町。おすすめのスポットは、ヤシの木が立ち立つ辻堂海岸公園です！



PUBLIE
瀧 謙 尊

豊かな自然が自慢です。毎週末にはイベントもあつちですファミリーにおすすめです。



コサイエ
阿部 慶子

ストロベリーロードで最新いちご狩りを！地場産産大福も堪能美味！



リラックス食堂 湘南台
佐藤 遼太

横浜名産産大福や湘南野菜など、美味しいものがたくさんあります！



レゴ®クリックブリック 入間店
渡邊 涼太

入間基地の航空資料！ジョンスワンクワでは情熱ある雰囲気も楽しめる！



レゴ®クリックブリック 札幌店
吹 堂 文

インバウンドのお客も多い札幌。今年で第70回を迎えた札幌まつりにも多くの観光客が訪れ賑わいを見せていました！



レゴ®クリックブリック 千歳レラ店
松山 亜莉紗

鮭が有名な千歳！サケのふるさと千歳水族館では淡水では日本最大級の水槽を有する水族館で、世界各地の様々な淡水生物を観察することができます。



レゴ®クリックブリック 仙台泉店
石 崎 佳美

青葉城址、七夕、松島、牛タン、ずんだ餅！有名なものが沢山です。



リラックス食堂 仙台
齊藤 和泉

毎年9月の定例市ジズストリートフェスティバル！クキキ並木が美しい仙台的街中を散策が楽しめます。



レゴ®クリックブリック 仙台港店
今野 政斗

南三陸の力強い生魚系を家にする「うみの杜水産館」がおすすめです。



UDS 滋賀オフィス
寺尾 謙平

江戸時代からの町家が並ぶ「目黒街」で、歴史や文化を生かしたチャレンジが次々生まれています。春は「左義長」や「柳明祭り」も、ぜひお楽しみください！



リラックス食堂 滋賀
松岡 辰哉

滋賀県の自慢は近江川！他にも琵琶湖の豊かな風景も、発酵食など注目の食がたくありません！



ホテル アンテルーム 京都
ニサンサラ リチティガ ラ テリニ

ビールが好きな方には、夏〜秋京都製造ツアーがオススメ。ホテル周辺の地元のカルチャーと京都を楽しむDig out local tourも開催しています。



ホテル コンラ 京都
三好 風

「技術、食、芸術」多様な伝統文化・モダンが盛りまち。京都、ぜひ、コンシェルジュにあなただけのオススメスポットを聞いてください！



リラックス食堂 大阪
南原 あすか

「万博記念公園」があります！公園には「太閤の塔」をはじめ自然文化園や民俗博物館などもあります。



レゴ®クリックブリック 阿見店
中山 友紀

牛久大仏とスタッフ一同で、子供たちの笑顔を見守っています！



レゴ®クリックブリック 木更津店
中西 美紗

店舗数日本一のアウトレックパーク！誰でも夢中になれる楽しいお店がたくさんあります！



BUNKA HOSTEL TOKYO
朱 莉 芳

浅草の名物「浅草寺」。浅草寺とその周辺は夜も綺麗で魅力あふれます！夜の浅草を堪能しながら、BUNKAにも寄ってください！



ここ滋賀
矢崎 里菜

日本橋は、老舗のデパートや交通にも人気のスポットがたくさん！地域の魅力を味わえるアンテナショップも盛りあふれます！



LEAGUE 銀座
大島 みなみ

東銀座は歌舞伎座や老舗のお寿司屋さんなど、日本の伝統を味わえるスポットがたくさん！外国人にも人気のエリアです。



レゴ®クリックブリック 倉敷店
小田 幸恵

大原美術館などがあり芸術と文化に触れます。



リラックス食堂 広島
濱田 葵

「もじり園」が名物ですが「杓子せんべい」も美味しいのでオススメです！



薩摩川内市スマートハウス
田尾 友輔

鹿児島県・薩摩川内市の中心を流れる川内川。川を中心に様々な市民活動が行われ、活気に溢れています！



the rescape
太田 雄一

宮古ブルーの海と自然に囲まれた最高のケーションです！是非遊びに来てください。



HOTEL LOCUS
比嘉 風美香

うみくろ！海で見えない「宮古ブルー」が目の自慢です。